

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	うんどう☆ことばの教室			
○保護者評価実施期間	2024年 2月 1日		～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47人	(回答者数)	34人
○従業者評価実施期間	2024年 2月 1日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員を人員配置基準を超えて配置している。	保護者様が安心して子供たちを預けられるように、また、安全を担保できるように支援員を多く配置している。	内部研修、外部講師による研修を実施し、支援員の質の向上を図っていく。
2	療育の目的別に十分なスペースを確保している。	療育の目的別にお部屋を色分けし、子供たちが視覚的に何をするのかを理解できるようにしている。	常に、楽しく学べるような工夫も考えていく。
3	多職種の支援員によるきめ細かな支援の提供が出来ている。	支援員のスキル、経験をお互いに学べるようにしている。	支援員による勉強会を開催し、さらに多く学べるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育教材（遊具、絵本など）が多くなり、有効に活用することが出来なくなっている。	どんな療育教材がどこにあるのが管理されていないので、効率よく利用することが出来ない。	保管している療育教材の内容を対象年齢、教材の内容、数量、保管場所などを一元的に管理できる仕組みをパソコンで作成し、療育教材を購入または作成する時に検索できるようにする。